

2018 年度光学論文賞

2018 年度(第 59 回)光学論文賞は、浅原 彰文氏(電気通信大学)ならびに南川 丈夫氏(徳島大学)が受賞されることになりました。受賞対象論文は次のとおりです。

○浅原 彰文氏:

A. Asahara and K. Minoshima, "Development of ultrafast time-resolved dual-comb spectroscopy," APL Photonics 2, 041301 (2017).

○南川 丈夫氏:

Takeo Minamikawa, Yi-Da Hsieh, Kyuki Shibuya, Eiji Hase, Yoshiki Kaneoka, Sho Okubo, Hajime Inaba, Yasuhiro Mizutani, Hirotsugu Yamamoto, Tetsuo Iwata, and Takeshi Yasui, "Dual-comb spectroscopic ellipsometry", Nature Communications, 8, 610 (2017).

授賞式および記念講演は Optics & Photonics Japan 2018にて行います。

日 時:

授賞式 2018年10月31日(水) 14:45~

記念講演 2018年11月2日(金) 13:00~

場 所: 筑波大学東京キャンパス文京校舎(東京都文京区大塚 3-29-1)

選考委員は以下の通りでした。

委員長: 相津 佳永 (室蘭工業大学)

委員: 芦原 聡 (東京大学)、有本 英伸 (産業技術総合研究所)、栗辻 安浩 (京都工芸繊維大学)、大瀧 達朗 (株式会社ニコン)、岡本 卓 (九州工業大学)、武田 光夫 (宇都宮大学)、田中 拓男 (理化学研究所)